

炉心冷却の長期間の停止

- HPCI を手動停止させた後、原子炉SR弁を開にして原子炉圧力を減圧し炉心注水による冷却を実施しようとしたが、SR弁開に失敗してしまった。
- その結果、炉心注水もHPCI再起動もできず、6時間43分にわたり炉心冷却ができず、炉心損傷を引き起こしたと見られる。

HPCI停止操作の妥当性

- 直流電源の残り容量のチェックをHPCI手動停止、DDFP使用開始を検討し始めた時に実施しておくのが順当な手順ではないか。
- 定格を下回っていた0.8～0.9MPaは1.03MPaに対して緊急に止めなくてはならない危険な圧力だったのか。あるいは振動等の兆候があったのか。
- HPCIを手動停止させる前に、原子炉注水が可能となる状態にした上でSR弁による減圧操作を試みることは可能であったか。